

# こおろぎ

発行日 2003年 7月 1日 **No.124**  
発行元 株式会社  
オリジン・コーポレーション  
代表取締役：杉井保之  
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1  
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187  
E-mail [origin@ck.tnc.ne.jp](mailto:origin@ck.tnc.ne.jp)  
URL <http://www.origin-co.com>

## 暑中お見舞い申し上げます。

勉強会の課題の「一年以上、ご無沙汰している方に葉書を出す」で、前に勤めていた会社の社長に葉書を出しました。私が退職して二・三年で倒産し、その後、癌になられ、今では人工肛門、前立腺を取ってしまったそうです。

そんな社長が、葉書を見て、静岡から私のためだけに、会いに来てくれました。お会いするのは十三年ぶりでしたが、とてもにこやかに、二時間近く話をさせてもらいました。

「内田さんを退職させてすまなかった。」「倒産して何もかもなくなってしまう。」「倒産してこれまで見えなかったものが見えるようになった。」「毎日食べる分だけで精一杯だけど、今も精一杯頑張っている。」「交友関係もずいぶん狭くなったが、関係はずっと濃くなった。」「話してくれました。」「たった一枚の葉書が、こんなに大きなものを与えてくれるとは思っていませんでした。遠路はるばる来てくれた元社長と、二時間近くも笑顔でうなずき仕事を抜かせてくれた社長に心から感謝します。」

寝たきりだった父の日記に、「俺の若いころを知っている仲間が、また一人死んだ。」と書かれていました。それを読んだとき、寝たきりだった父にとって、元気だった自分のことを知っている人が死んでいくことは、同時に若かった頃の自分が死んでいくことと同じことだったのだらうと思いました。

皆さんは、暑中見舞いを出されましたか？

もし時間がとれたら、一年以上ご無沙汰している方に葉書を書いてみてはどうでしょう？

きっと自分のことを覚えていてくれただけで、嬉しいものだと思いますよ！

## ホームページが出来ました！

オリジン・コーポレーションのホームページが出来ました。

事務の西村さんが、毎日、自分の時間を使って作ってくれました。入社した3年前には、私がパソコンを教えたのに、いつの間にか足元にも及ばないほどパソコン通になっていました。

進歩というものは、努力しているときには目に見えにくいものですが、目に見えたときには歴然とした差となって現れるものです。

これまで「こおろぎ」ではご紹介できなかった葉書や写真を見ることが出来ますので、是非、アクセスしてみてください。

<http://www.origin-co.com>

(製作者の一言)

入社するまでパソコンのことをほとんど知らなかった私が、会社のホームページを作らせてもらうことになり、プレッシャーと充実の三ヶ月間でした。私なりの思いを込めてオリジンを表現していきたいと思っていますので、良かったら感想をお聞かせください。元気の出るホームページにしていきたいと思っています。

## それはないでしょ！

今年も大学の前期試験の季節になりました。

仕事をしながら授業に出て、更に試験勉強をするのはなかなか大変です。そんな中、今日、今期最初のテストがありました。

この教授には以前からお世話になってよく知っていましたので、先生も授業の中で私の話をよく出して下さっていました。とてもありがたいことなのですが、それが試験となるとプレッシャーになるのです。

「他の授業はともかく、この先生の試験で悪い成績を取るわけには行かない。」「取りたくない!」という気持ちが湧いてきて、試験までの数日間は本当に必死でした。「試験問題は、これまでにやった小テストから出す」と聞いていましたが、もしものために教科書以外の本もまとめて一生懸命暗記したのでした。

ところが！ いざ試験が始まると、教科書はもちろん、出題されている問題集の答えも見て良いのです。必死に勉強してきた私にすると、「それはないでしょ!」「これでどうして成績を付けるのだろう? 皆、優になるなら勉強してきて損をした」という気持ちになりました。

しかし、私は損をしたのでしょうか？

勉強するために大学に行き、自分のために勉強していたはずなのに、いつの間にか良い成績をとることが目的になり、評価の厳しい先生の試験は一生懸命勉強し、厳しくない先生の試験はあまり勉強しないという取り組み方になっていた気がします。

「成績の良い人と成績の悪い人との差は、ほとんどない。成績の悪い人は、テストの五分前に答えを忘れ、成績の良い人は、テストの五分後にすべてを忘れる」という言葉があるように、今回覚えたことのほとんどを私も忘れてしまうでしょうが、四畳半ぼろアパート(大家さんすみません)で、必死に机に向かった記憶は一生心に残ると思うのです。

私と一緒に試験を受けた学生の中には、私のように少ない努力で良い成績を得ることが得なことだと思っている人がいるかもしれませんが、実はそこで得た知識より、自分の人生に挑戦して、深く思い出を刻むことの方が、意味のあることだと思うのです。

「こおろぎ」を読んでいる皆さんも、これまで親切にした人に裏切られて損をした気がしたことがあるかもしれませんが、相手の反応がどうであったにしろ、皆さんがとった良い行為は、皆さん自身の人となりを示し、皆さんを裏切らないと私は思います。

今回のテストは、私自身が人からの評価(成績)のために行動していることを教えてくれ、自分の人生の価値は、自分がどう生きたかで決まることを再確認させてくれたものでした。

## 建設的な生き方を学ぶ会

ホームページを見てもらうとわかりますが、全国各地でCLをベースにした勉強会が開かれていて、先日、山中湖の勉強会が三周年を迎えました。そのときの体験発表がとても良かったので同封しました。

二人とも、発表するために何度も原稿を書き直したことでしょう。仕事を持つ女性として、とても素敵な生き方をしているといます。是非、皆さんの参考にして下さい。

また、こうした勉強に興味のある方は、気軽にご参加下さい。堅苦しくない笑いに溢れた雰囲気の中、具体的な生き方のコツと一緒に学びましょう。